

## ノーベル平和賞についてのやりとり

以下のやりとりは、「憲法9条にノーベル平和賞を」と活動している浜地道雄さん(国際ビジネス・コンサルタント)が、「ノーベル平和賞ウォッチ」のフレドリック・S・ヘファーマルさんを介して、アメリカン大学のピーター・カズニック教授(歴史学)と、今年のノーベル平和賞について意見交換した記録です。

浜地さんについては、以下の記事をご覧ください。

<https://www.data-max.co.jp/article/31360>

### ●浜地道雄さんからピーター・カズニック教授へ

2022年のノーベル平和賞の3人の受賞者については、日本のメディアは皆、「勇気づけられる」と賞賛しています。日本のメディアはこぞって「ウクライナを励ます」と喝采しています。ウクライナの対ロシアを後押ししている。産経は、この賞は「プーチン/ロシアへの鉄拳制裁」と報じています。

私は、安齋育郎先生と同じ意見です。この賞は、米国がウクライナへの援助を拡大し、武器を購入することを促すものです。ウクライナの武器購入支援を拡大させ、戦争の激化を意味するもので、安齋先生のご意向に沿うものではありません。アルフレッド・ノーベルの武器を捨てよという意思に沿うものでもありません。

ピーター、あなたの貴重なご意見をお聞かせください。

よろしく申し上げます。

浜路道雄(世界憲章のための九条、国際ビジネス・コンサルタント)

### ●フレドリック・ヘファーマル氏より親愛なる浜地道雄さんへ

カズニック教授への質問を拝見して、嬉しくなりました。

この賞は、ますますアメリカの利益のために使われ、新しい冷戦を刺激しています。

アルフレッド・ノーベルの意図は、幅広い世界的な理解、非軍事化に関する協力でした。2022年の賞は、その逆を行くものです。

私はノルウェーの主要紙に掲載された私の記事を国連事務総長アントニオ・グテーレスとニューヨークの全国連大使に送りました。

以下をご覧ください。よろしく申し上げます。

フレドリック・S・ヘファーマル(ノーベル平和賞ウォッチ)

### アントニオ・グテーレス国連事務総長への公開書簡:2022年のノーベル戦争賞について フレドリック・S・ヘファーマル(ノーベル平和賞ウォッチ)

ノルウェー・ノーベル委員会は、10月5日(水)のインタビューで、委員会は今後もノーベルの名を冠したノルウェー平和賞を授与することを明らかにしましたが、武器や戦士、戦争から解放された世界というアルフレッド・ノーベルのビジョンとは全くかけ離れたものです。非現実的と思われるかもしれませんが、核の脅威が地球上のすべての生命を絶滅させるという共通の恐怖を含め、多くの緊急かつ非常に現実的な危機に直面している世界において、大国間の対立が激化している現状がどれほど現実的であるかということです。人類はほんの小さなミスで絶滅してしまうという警告をありがとうございました。

ノーベル賞は毎年、世界の国々に、非軍事化と国連憲章の義務に真剣に取り組むことの緊急性を喚

起する役割を果たすはずである。残念ながら、ノルウェーの受賞委員会はノーベル賞の信頼を裏切り、法律を破り、意図的に不誠実な行動をとっています。

私はあなたがその可能性を認識し、本来の意図に忠実なノーベル賞が、国連の再活性化に最も役立つものであることを期待しています。

### ●ピーター・カズニック氏から浜地道雄氏へ

親愛なるミチオらへ

フレデリックが言うように、ノーベル平和賞は、テディ・ルーズベルト、佐藤、キッシンジャー、オバマなど、「戦争屋」にしばしば授与されてきました。数年前の ICAN の受賞も、最有力候補であった私の候補者である日本被団協に受賞させないことで、アメリカに恥をかかせないようにしたのだと言われました。それは、事実かどうか分かりません。

プーチンのウクライナへの不法かつ非道徳的な侵攻に対して、世界はウクライナ側に立っています。しかし、ほとんどの国がアメリカの制裁に同調することを拒否しています。今回のエスカレートは、私にとってかなり心配なことです。私は、核戦争の脅威が高まっていることについて、多くの講演やインタビューを行っています。ゼレンスキーとバイデンは、この機会を捉えて、ロシアを罰し、効果的に弱体化させ、もはや米国の覇権に対する地域的な脅威とならないようにしたいのでしょうか。唯一の合理的な対応は、ロシアとウクライナの双方に、直ちに座って交渉するようできるだけ多くの圧力をかけることですが、ロシアは現在、明らかに守勢に立たされているにもかかわらず、双方ともそれを望んでいません。プーチンは、エスカレートするように大きな内圧をかけられています。ロシア軍は戦場での成績が芳しくありません。ゼレンスキーは、あらゆる援助と NATO の最新兵器が自由に使えるので、自分が勝っていると考えています。私は何か破滅的なことが起こるのではないかと恐れています。今日のロシアのミサイルとドローンの発射は、ほんの始まりに過ぎません。だから、こうした親ウクライナの声に報いることは、生産的ではなかったと私は考えています。この戦争を長引かせるようなことは、とんでもない間違いです。しかし、ベトナム、アフガニスタン、イラク、リビアでアメリカが非難され罰せられるべきだったように、この違法な侵略でロシアを非難し罰したいという気持ちは理解できます。

このような急ぎの回答で申し訳ありません。今晚はインタビューと 5 時間の授業で忙しいのです。

ごきげんよう。

ピーター

※安齋注:ピーター・カズニック教授(アメリカン大学、歴史学)の意見は貴重ですが、彼がウクライナ戦争を「不法かつ非道徳的な侵攻」と単純にとらえているとすれば、そのことについては、ドンバス地方のロシア語話者に対するウクライナ軍の民族浄化的暴虐をどう見るかについて私は異なる意見を持っています。また、「ロシアが守勢に立たされている」という見方についても単純すぎるので、異論があります。

